

部門名	一般建築工事（小規模）
案件名	宍道体育センター屋根改修工事
事業者名	八光建設株式会社
代表者名	代表取締役 森本 忠克
技術者名	主任技術者 安達 明
工事概要	老朽化した建物北面、南面の漏水対策のため、屋根ケラバ改修、妻壁改修、シーリング改修工事
表彰理由	本工事は、建物の老朽化により劣化した、屋根や壁の一部の改修を行ったものである。施工時期が冬季であり、宍道湖に面して強風等もある状況の悪い中での工事であったが、計画的な工程管理により完工させた。また、品質管理においても、複雑な既設建物との取合いの納まりを現地調査のうえ綿密に検討され、提案をもって施工に当たった。全体として優良な工事であった。

受賞技術者である、八光建設（株） 安達 明さんにいろいろな思いを伺ってみました。

受賞の感想は？

感激しています。久しぶりの松江市発注の現場管理だったので緊張しましたが、無事に完成し、表彰までしていただけたこと、改めて担当の監督員の皆さまや対応して下さった施設の皆様に感謝しています。



本工事で心掛けたこと、印象に残ったこと等は？

この工事は体育館の屋根改修工事となっていますが、ケラバ部分はあったものの、そのほとんどが壁の改修工事でした。印象的だったのは、初めての現地確認の際に体育館内の窓際にたくさん並んだタライを見たときで、図面からは読み取ることができない現状を目の当たりにして、本当に雨漏りを止める事ができるのかと震えたのをハッキリと覚えています。苦労というより既存の納まりも解らないという不安を打ち消すべく、壁の中を想像することと、段階的な止水の方法をイメ



一ジしながら、関係者との話し合いを何度も重ねました。今となっては当初の目的を達成でき、正直ホッとしています。雨天の施設利用時には床拭きタイムでプレーの中断が常態化していたと伺いました。これからは安心して利用いただきたいですね。

仕事における今後の目標は？

八光建設の知名度を上げていきたいです。この度の優良建設工事等表彰も近年、名前を上げていただける機会も増えました。誠実で地道な業務もこなしながらも「弊社でないと。」と言っていたいただけるような事柄にチャレンジしていきたいですね。

建設業のやりがい（いいところ）はどのようなことですか？

完成時の喜びを味わえるのはもちろんですが、毎度、現場を進めていく上で沢山のムリが生まれます。その都度沢山の対話を重ねたその先で、その時に携わった誰かの笑顔になるほどの閃きや、また違う誰かのワクワクするようなチャレンジによってムリが一つずつ消えていく、空が晴れ渡って行くかのようなその時々感覚が大好きです。想いが詰まった建物が、少しずつではありますが街に増えていくのは大きなやりがいですね。

勤務先である八光建設(株)のいいところを教えてください。

チャレンジすることをみんなで見守りみんなでサポートする、社長以下、社員の関係性がとても近いです。公共工事のみならず、幅広い工事規模を経験できるのも魅力で、現場での対応スキル向上や、お客さまを近くに感じられることもいいところのひとつです。

これから建設業界を目指す人へ伝えたいことは？

きついイメージ以上に喜びがあること、手をかければかけるほど結果が良い方へ変わることに、一見面倒に感じるかもしれませんが、こだわりポイントはモノづくりに欠かせない肝で、それが原寸大模型ならなおのこと、芸術家のように完成品を語れます。失敗に負けない気持ちがあれば、高齢化しつつあるたくさんの先輩たちがいくらでもサポートしますよ。是非ともこちら側へ来て沼にハマってみて欲しいですね。



八光株式会社
(写真左) 代表取締役 森本 氏
(写真右) 主任技術者 安達 氏